

DPI 北海道ブロック会議御中

いつも大変お世話になります。

この度ご依頼いただきましたアンケートにつき、下記の通りご回答申し上げます。

これからも皆様のお声を大切に、精一杯頑張ってまいりますので、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

自由民主党

北海道第3選挙区

石崎 岳

1. 今回、廃案となった「障害者自立支援法案」を厚生労働省は、臨時国会で、再提案すると明言していますが、採択の際にあなたは、賛成しますか、反対しますか。

その他

従来の障害保健福祉施策には、サービスの提供体制や利用状況に地域差が大きいこと、精神障害者関係の整備が遅れていることなど、解決すべき課題も多く、より安定的かつ効率的なものへと変えてゆくためには必要な法案だと考えています。

2. 「障害者自立支援法案」の最大の焦点となった「応益負担（定率負担）」について、あなたはどのようなお考えですか

その他

今後とも必要なサービスを確保して行くために皆で支え合っていく観点から、一定の御負担はお願いせざるを得ないと思っています。ただし、何よりも低所得者の方へのきめ細かい配慮を施し、さらに障害者の在宅サービスに関する国及び都道府県の負担を義務的なものとする必要があると考えています。

3. 自立支援法案では、障害程度区分の判定により、介護やグループホーム、日中活動など、利用できるサービスの種類や量が制約される可能性があります。その点についてどのようにお考えですか。

その他

心身の状態を総合的に表す「障害程度区分」を導入するとともに、事業や施設の体系も見直し、一人一人の障害者の状況や支援の必要性に応じて適切かつ公平にサービス利用が図られるようにすることが必要と考えています。

4. 自立支援法案では、精神障害者通院医療費公費負担制度、更正医療及び育成医療への利用者負担について、あなたほどのようなお考えですか

その他

今後とも必要な医療を確保しつつ、障害に係る公費負担医療制度を維持するためには、費用を皆で支え合う仕組みへと見直すことが必要であると考えています。

ただし、御負担をお願いするに当たっては、低所得者の方や、継続的に相当の医療費負担が発生する方について、負担軽減措置を適切に講じて行くことが必要であると考えています。

6. 小泉首相は来年度予算の概算要求基準について、社会保障費を2200億円圧縮するよう財務大臣に指示を出しました。あなたは社会保障費の圧縮について、どのようにお考えですか。また、社会保障の財源をどこに求めるべきとお考えですか。

その他

人口減少社会を間近に控え、少子高齢化が進展する中、社会保障制度を持続可能なものとするためには、国民の安心を確保しつつ、社会保障制度の各般を通じて給付の適正化に努め、給付と負担のバランスを確保して行くことが重要であると考えています。

【社会保障費の財源として、今考えているもの】

まずは構造改革の推進による行財政のムダを徹底的に省くことが必要です。その上で社会保障を賄う費用については、利用者負担、保険料負担、公費負担の適切な組合せにより所要の財源を確保して行くことが重要だと考えています。さらに、社会保障給付全般に要する費用の在り方の見直し等を踏まえつつ、あらゆる世代が広く公平に負担を分かち合う観点から、消費税を含む抜本的税制改革について議論を深めて行くことが必要であると考えています。